

# 2015年3月期 決算説明会

2015年6月2日



株式会社キョウデン



# Contents

1 2015年3月期 決算概要

2 トピックス・今後の取り組み等

# 2015年3月期 業績概要(連結)

(単位：百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	増減額	増減率
売上高	41,258	<b>45,375</b>	4,116	10.0%
売上総利益	6,588	<b>6,811</b>	222	3.4%
営業利益	1,299	<b>1,414</b>	114	8.8%
経常利益	980	<b>1,050</b>	70	7.2%
当期純利益	438	<b>227</b>	△210	△48.0%

# セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

【売上高】	2014年3月期	2015年3月期	増減額	増減率
電子事業	32,111	<b>36,353</b>	4,242	13.2%
工業材料事業	9,048	<b>9,007</b>	△41	△0.5%
その他	98	<b>15</b>	△83	△84.7%
合 計	41,258	<b>45,375</b>	4,116	10.0%

- 電子事業の増加要因は国内での小中ロット案件好調及び海外におけるタイ工場のキャパアップに伴う販売増及び円安影響

【営業利益】	2014年3月期	2015年3月期	増減額	増減率
電子事業	772	<b>792</b>	20	2.6%
工業材料事業	612	<b>687</b>	75	12.2%
その他	△86	<b>△67</b>	19	△22.1%
合 計	1,299	<b>1,414</b>	116	8.8%

- 電子事業の営業利益増は主に上記売上高増加によるもの  
工業材料事業ではGF材分野の好調が牽引し収益増に寄与

# 連結貸借対照表

2014年3月期		金額単位：百万円 ※百万円未満切り捨て	2015年3月期	
流動資産 25,727	流動負債 19,556		流動資産 27,074	流動負債 19,788
	固定負債 11,864			固定負債 11,935
固定資産 16,499	純資産 10,805		固定資産 15,575	純資産 10,925
<b>総資産 42,226</b>			<b>総資産 42,649</b>	
自己資本比率：25.6%			自己資本比率：25.6%	

主な増減要因)

- 流動資産 (↑) : 売上増加に伴う売掛債権等の増加
- 固定資産 (↓) : 土地建物売却
- 流動負債 (↑) : 未払諸費用増加
- 固定負債 (↑) : リース債務増

# 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2014年3月期	当期実績 2015年3月期	対前期 増減額
営業C F	685	2,379	1,694
投資C F	△1,012	330	1,343
財務C F	518	△2,415	△2,934
現金及び 現金同等物の残高	8,842	9,357	515

前期比増減の主な要因)

- 営業C F：前期特有の事情による特殊要因解消（役員退職慰労金）
- 投資C F：土地建物売却
- 財務C F：借入金返済

# 設備投資・減価償却費・研究開発費

(金額単位：百万円)

	2014年3月期	当期実績 2015年3月期	予想 2016年3月期
設備投資	3,080	1,933	2,800
減価償却費	1,571	1,630	1,840
研究開発費	326	338	300

主な設備投資の内容)

- 2015年3月期：タイ工場設備増強、国内電子事業の自動化設備導入 他
- 2016年3月期：国内自動化投資継続、新会社事業へのインフラ投資 他

# 2016年3月期連結業績予想

	1Q-2Q 予想	3Q-4Q 予想	通期予想
<b>【売上高】</b>	<b>22,000</b>	<b>28,000</b>	<b>50,000</b>
電子事業	17,800	23,550	41,350
工業材料事業	4,200	4,450	8,650
その他	-	-	-
<b>【営業利益】</b>	<b>700</b>	<b>1,000</b>	<b>1,700</b>
電子事業	430	710	1,140
工業材料事業	320	340	660
その他	△50	△50	△100
<b>【経常利益】</b>	<b>550</b>	<b>850</b>	<b>1,400</b>
<b>【当期純利益】</b>	<b>300</b>	<b>500</b>	<b>800</b>

通期予想トピック)

- 2Qより子会社2社買収による増収分の効果を見込む





# Contents

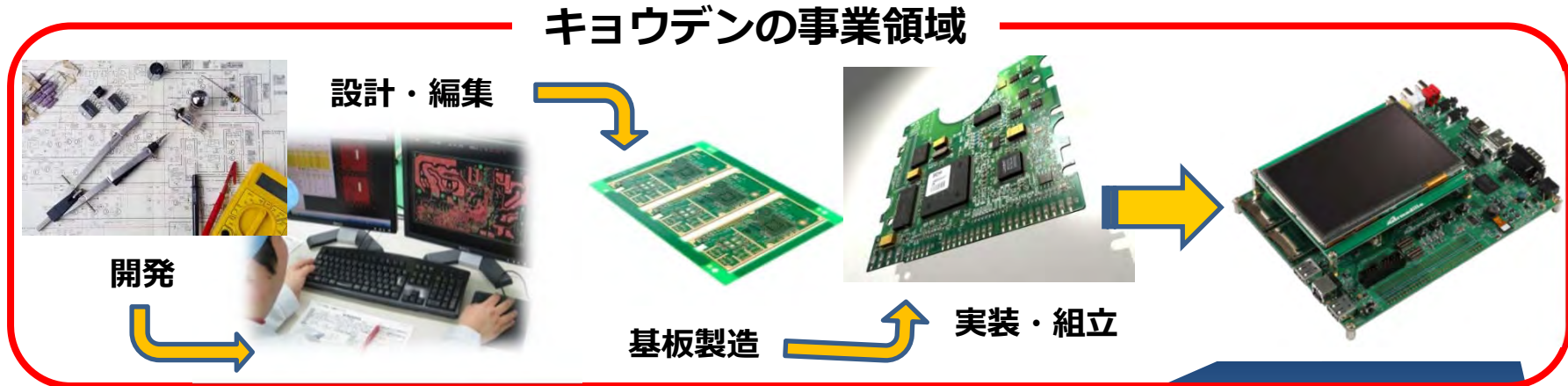
1 2015年3月期 決算概要

**2 トピックス・今後の取組み等**

# 電子事業

# 【 事業内容 】

## 電子事業



### 最終製品例



ECU  
DC-DCコンバーター  
車載用各種センサ  
車載用各種チューナ  
カーナビゲーション  
メーターパネル



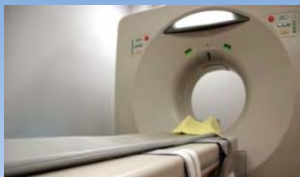
事務用機器



PC/タブレット型端末  
スマートホン/携帯電話



道路・鉄道用信号機  
ETC・セキュリティカメラ



CTスキャナー/MRI  
超音波診断装置



テレビ/ブルーレイオー  
ディオ/音響機器



各種コントロールユニット  
放送機器/通信基地局機器



航空宇宙機器



家電



アミューズメント機器  
玩具・ゲーム



産業用ロボット/工作機械  
モーター/各種電源装置

# 【新会社紹介】

電子事業

新会社概要)

社名：株式会社キョウデンプレジジョン（仮称）

設立年月日：平成27年7月1日（予定）

所在地：静岡県伊豆の国市三福80-2

事業内容：プレス、成形、金型、ユニット、基板実装



－保有設備（一部）－



レーザー加工機



成形機



自動組入機



成形金型

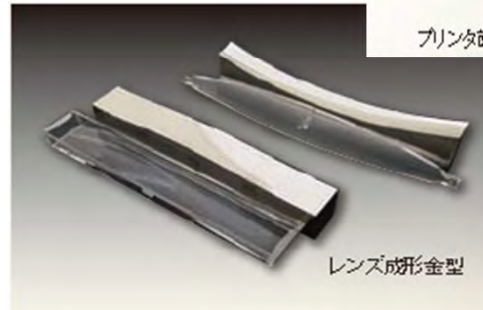
－製品例－



絞り加工部品



プリント筐体



レンズ成形金型

# 【ワンストップ体制拡充】

電子事業

これまでの開発支援（設計、試作）から部品調達、実装に加え、  
キョウデンプレジジョンの機能も追加したインハウス型の完全一貫生産を実現



こんなメリットが！

- ◎ 窓口一本化による工数管理の低減
- ◎ 部品在庫の減少
- ◎ 責任問題の明確化
- ◎ 試作回数の低減
- ◎ 一貫生産による完成度の高い製品の納入

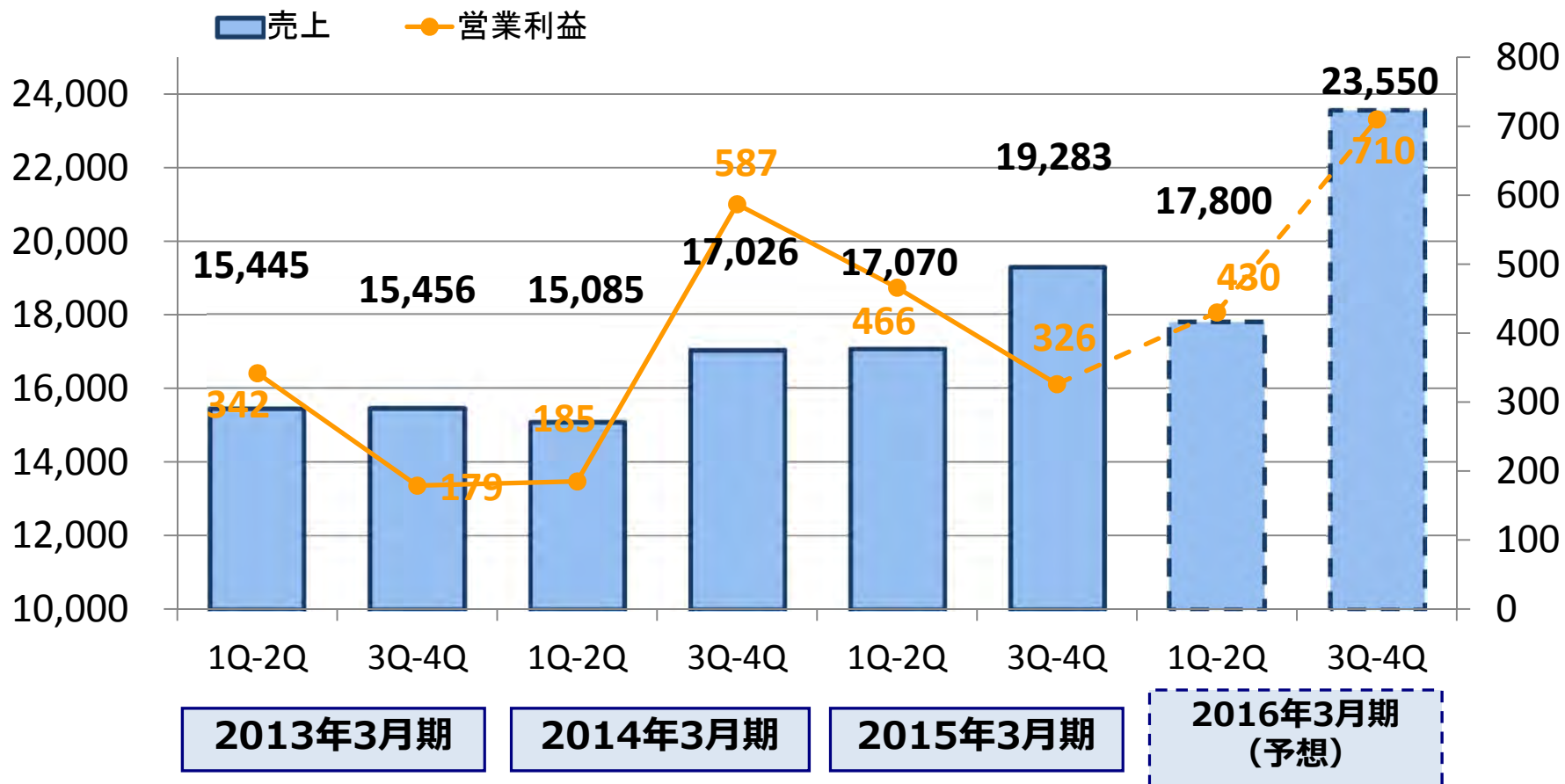
製品リリースのリードタイム短縮及びトータルコスト削減が可能

# 【業績推移】

電子事業

(売上)

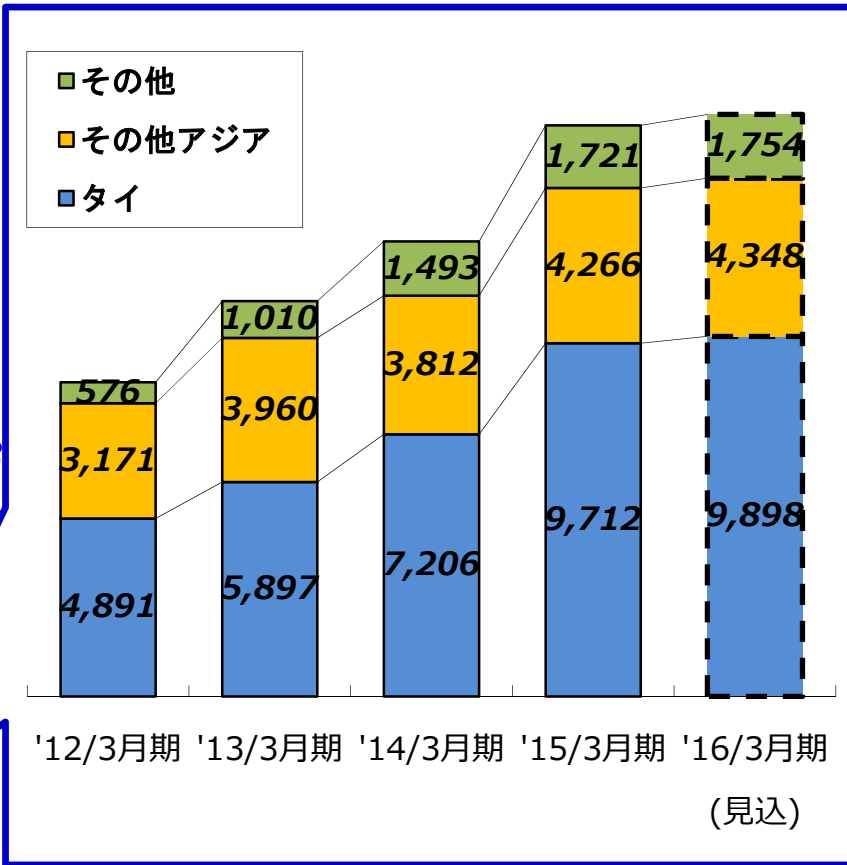
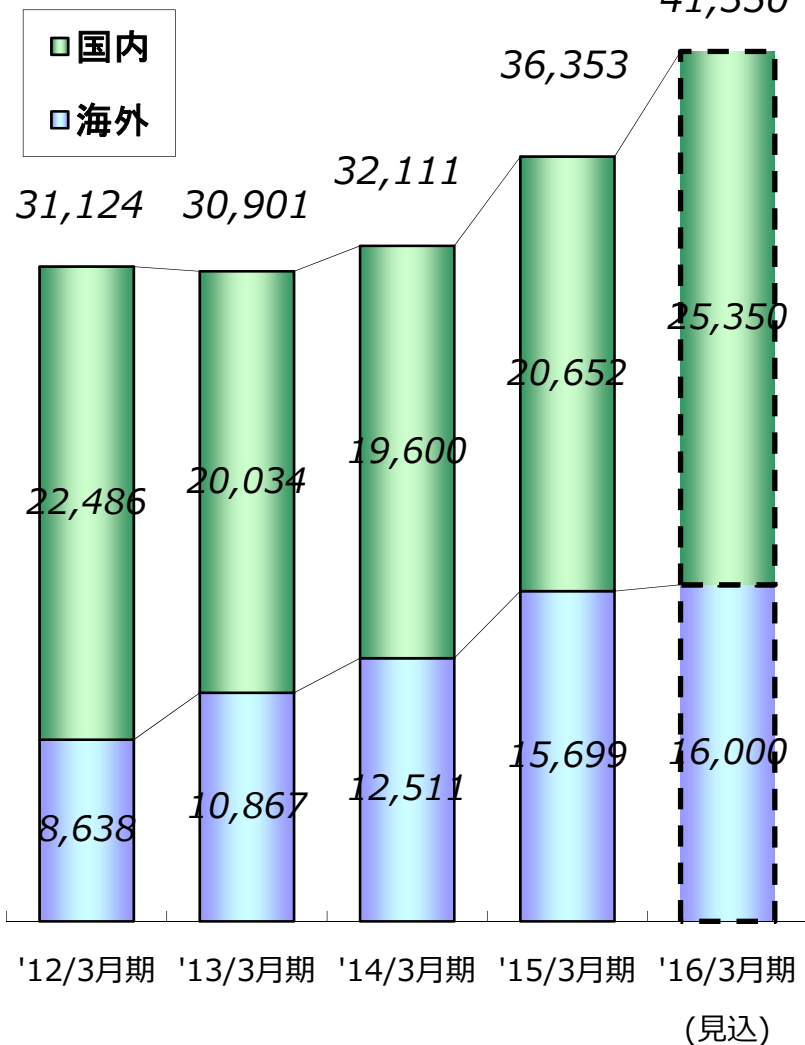
(単位：百万円) (営業利益)



- 2015年3月期：消費税増税の影響懸念に反し好調推移+円安影響
- 2016年3月期：キョウデンプレシジョン買収による増収効果を見込む

# 【 KD電子事業 地域別売上 】

(単位：百万円)



【'12~'15 年度末 為替レート】 (単位：円)

	'12/3月期 ( '11/12月末 )	13/3月期 ( '12/12月末 )	14/3月期 ( '13/12月末 )	'15/3月期 ( '14/12月末 )
USD	77.74	86.58	105.39	120.55
EURO	100.71	114.71	145.05	146.54
BAHT	2.45	2.82	3.20	3.67

### ■ 国内関連

- ◆ 各種産業装置メーカーの車載関連・スマホ向けの設備投資活況
- ◆ 同業他社事業撤退による転注品増加
- ◆ 回路設計の案件数増加
- ◆ 量産実装増加・部品調達案件の大幅増
- ◆ 主力メーカー向け案件(チップLED・センサー等)の獲得
- ◆ (地域・対象顧客) 限定プロモーションへの注力による販路開拓

### ■ 海外関連

- ◆ 期初に大規模設備投資により 大幅なキャパシティアップ  
⇒ 内製キャパシティの強化による品質向上+収益力アップ
- ◆ 車載関連は タイ国内で優遇税制終了による内需減があるも  
北米向けを中心に概ね好調を維持
- ◆ エアコン等民生機器関連も堅調



### ■ 国内関連

- ◆キョウデンプレシジョンの機能（プレス・成形・金型）を活かしたワンストップソリューションの機能拡充  
⇒次世代型EMSメーカーへの進化
- ◆成長市場（医療機器・航空宇宙）への積極的参入
- ◆車載系・アミューズメント系におけるシェア拡大
- ◆自動化のための設備投資促進

### ■ 海外関連

- ◆タイ国の賃金水準上昇に伴う人的生産性向上の継続取り組み
- ◆品質要求の高度化に対する設備導入・現地教育体制の強化
- ◆現地協力工場との連携強化
- ◆海外TSPの積極展開（設計センター・部品現地調達）

# 工業材料事業

# 【 事業内容 】

## 工業材料事業

※写真はイメージ

当社製品

ユーザーにおける最終製品

### グラスファイバー原料事業

国内・海外  
鉱山



各種  
原石調達



破粉碎  
・分級等



ガラス長繊維原料



ガラスヤーン



### 耐火物事業



成形加工



焼成



耐火レンガ



鉄鋼メーカーで  
注鉄鍋等を使用



### 混和材事業

各種混和材



二輪車用摩擦材



裏籠めモルタル



コンクリートパイル

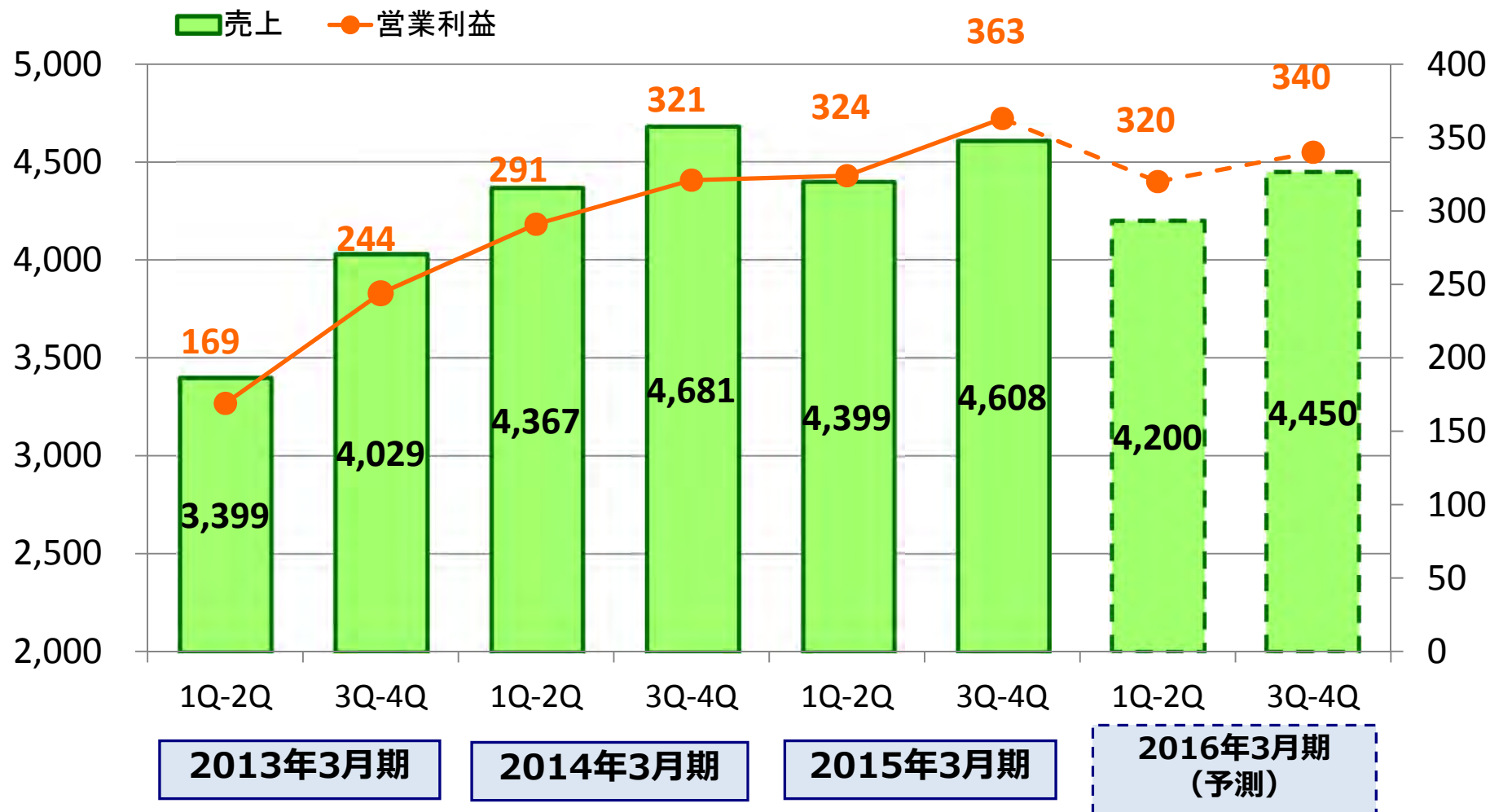


# 【業績推移】

工業材料事業

(売上)

(単位：百万円) (営業利益)



- 2015年3月期：内需の回復を受けて主要製品の出荷が堅調推移
- 2016年3月期：一部顧客の国内事業撤退・M&Aシナジー等による収支改善

### ◆ 工業材料

- 国内景気の回復に伴い、全体として期初予想並みの売上を確保
- 円安等による輸入コスト上昇により、特に年度後半からの業績悪化が懸念されたが、経費削減・販価是正に取り組み、前期比増益を確保

### ◆ 主要製品等

- グラスファイバー原料：国内景気の回復に伴い、主要先への出荷が堅調に推移
- 耐火物：高水準の粗鋼生産量を背景に、出荷が堅調。採算是正・コスト削減にも取り組み
- モルタル・混和材：天候不順等により公共工事向け資材の出荷が低調に推移。自動車、建材業界向け製品の出荷は概ね堅調
- 原料仕入販売（エトーインダストリー）：セメント向けが減少するも、衛陶原料・耐火物原料等がカバーし増収確保

### ◆ 既存事業

- 円安・電力料金値上げ等に対応したコスト削減活動、販売価格是正活動を引き続き展開する
- 海外新規原料の提案力の強化に努めるほか、海外原料備蓄機能の提供、破粉碎工程受託など、あらたな付加価値の創造に努める
- 一部製品については、内製化比率を引上げ、品質確保を図る

### ◆ 新商品・新規事業

- 熱電材料の早期上市を目指し、開発を加速する
- 事業基盤の拡充策としてM&Aを推進・・・(株)エトーインダストリー（2012年12月）に続き、ジャンテック（株）を子会社化。今後も、既存事業の拡充・強化につながる案件に取り組む

### ◆ ジャンテック(株)の子会社化

- 鉄鋼副資材・溶接材料等の金属系工業原料に強みを持つ専門商社
- 国内外からの原料調達力や、自社粉碎部門を含むきめ細かい品質管理に定評あり、鉄鋼・溶接材料メーカーに強固な営業基盤
- 非金属系無機原料主体の昭和KDE・エトーインダストリーとは、製品・販路が補完関係にあり、相乗効果が期待できる

商号	ジャンテック株式会社		
拠点所在地	本社：東京都中央区日本橋本町4-7-1 三恵日本橋ビル7階		
	大阪営業所：兵庫県尼崎市長洲西通1-3-26尼崎ステーションビル805		
	成田工場：千葉県成田市所1073		
設立年月日	1990年2月20日		
事業内容	鉄鋼副資材、溶接棒、鋳物・窯業原料等の輸入・仕入販売		
	各種金属・鋳産物等の粉碎・分級・混合等加工		
資本金	30百万円	売上高（平成26年9月期）	2,167百万円
従業員数	12名	総資産（平成26年9月末）	834百万円

■本資料には、**将来の業績に関する記述が含まれております。**  
こうした記述は、**将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。**将来の業績は、**経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。**

■ご利用に関しては、**ご自身の判断にてお願い致します。**  
本資料に基づいて被ったいかなる損害についても、**当社は一切責任を負いませんので、ご承知おきください。**

KYODEN  
GROUP



本資料に関するご照会先  
株式会社 キョウデン 経営企画部  
TEL : 045-929-0501